

2020.0809/0816

2020年度 JICA 地球ひろば主催(後援:日本国際理解教育学会)
国際理解教育・開発教育指導者研修
「私たちと世界のつながりー持続可能な社会とジブンゴト化」

新学習指導要領を踏まえた 国際理解教育・開発教育の授業づくりの ポイントーwith COVID-19ー

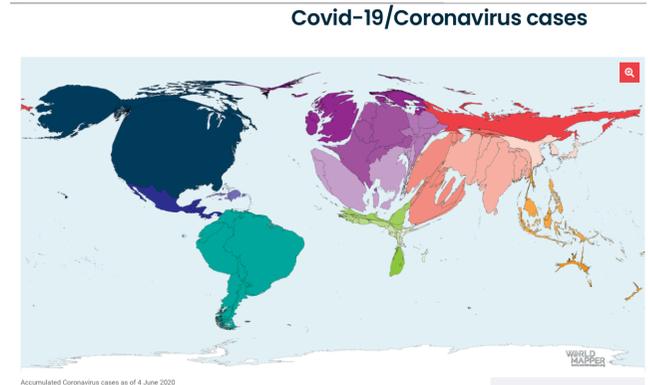
同志社女子大学
(日本国際理解教育学会前会長)
藤原 孝章



いま、学校で、社会で、世界で

新型コロナウイルスの世界的拡大

1500万人を超える感染者、60万人を超える死者
WHO（7月23日）。都市封鎖や移動制限、自粛要請。地域的な偏り、地域内での階層的偏り、アフリカなどへの感染拡大の傾向



<https://worldmapper.org/maps/coronavirus-cases/> 2020年7月初め

日本（世の中で）

外出や移動の制限、営業自粛、学校の休校
テレワーク、遠隔授業、自宅学習、医療への過重・疲弊
感染収束への見通し不明、感染への不安

コロナストレス・うつ、コロナ疲れ、SNSへの書き込み

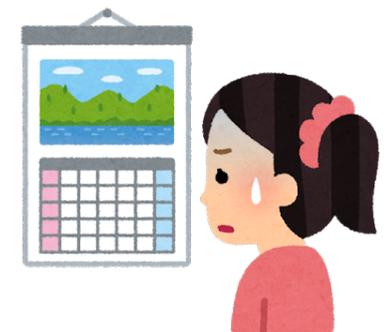
学校で

新しい教科書、配布して休校、授業できず

学校再開後

感染予防対策、分散登校、3密を避けて。そうじや給食
学校行事、授業内容の精選

新学習指導要領の要求、たくさんあるけど、、、



新学習指導要領が求めているもの

「持続可能な社会の創り手」を育てるとあるけど、
持続可能な社会って
教科書に「持続可能な社会」の単元やSDGsのロゴがあるけど、

学校が目指す三つの資質能力

知識・技能、思考・判断・表現力、学びに向かう意欲、、、
というけど

カリキュラムマネジメント

一般教員も関係あるの？

アクティブ・ラーニング

主体的で対話的で深い学びってどうしたら？

社会に開かれた教育課程

学校はどう開いていくの？

新しい教科なども

特別の教科「道徳」

小学校外国語（英語）必修

高校公民科「公共」地理／歴史総合と地理／日本史／世界史探究

総合的な学習と総合的な探究

プログラミング

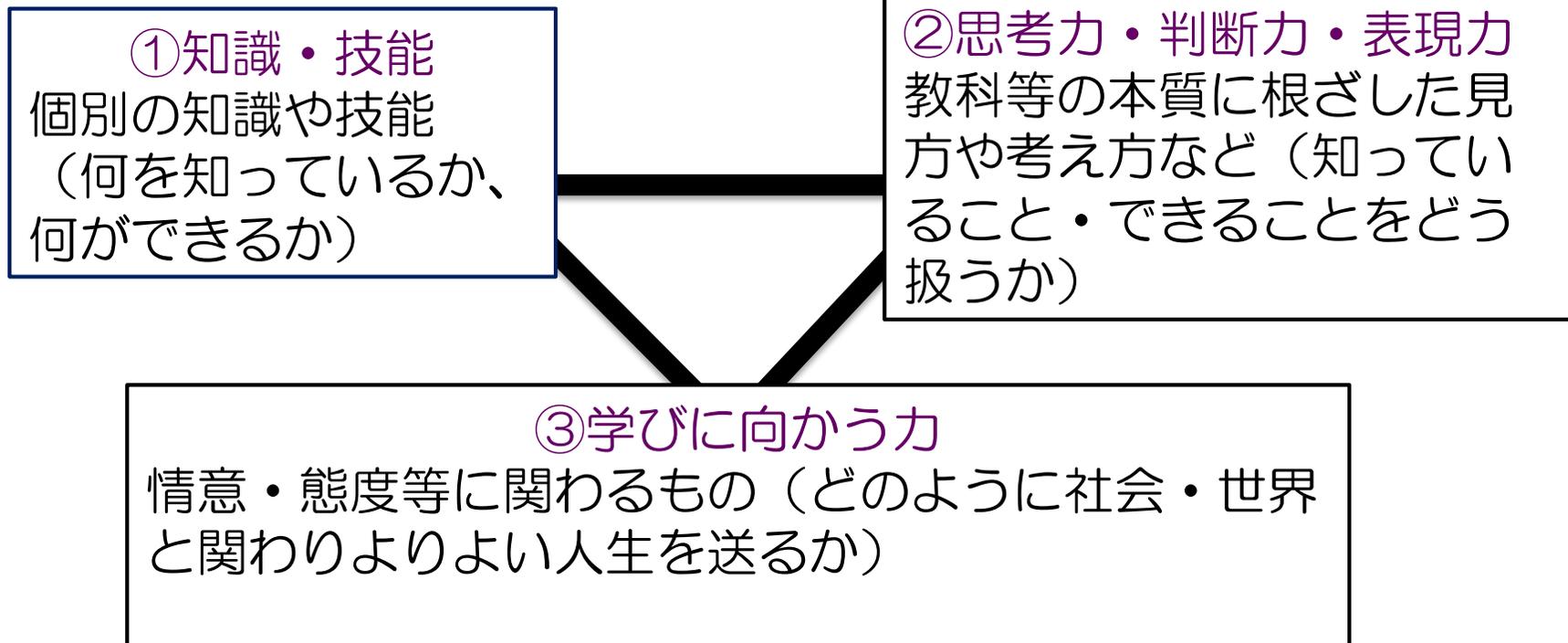


新学習指導要領：学力観の転換

人格の完成

(前文に「持続可能な社会の創り手」を育てる)

教科横断的・総合的に育成すべきさまざまな資質能力



→教科学習、総合学習、特別活動、道徳教育

→カリキュラム・マネジメント、アクティブ・ラーニング
(主体的、対話的、深い学び)、社会に開かれた教育課程

SDGs 世界を変える17の目標

誰一人取り残さない。自分ごとから世界ごとへ

3つの理念：循環、共生、公正



SDGs 4.質の高い教育をみんなに (4.7)

2030年までに、**持続可能な開発のための教育**及び持続可能なライフスタイル、人権、男女の平等、平和及び非暴力的文化の推進、**グローバル・シティズンシップ**、文化多様性と文化の持続可能な開発への貢献の理解の教育を通して、全ての学習者が、持続可能な開発を促進するために必要な知識及び技能を習得できるようにする。

SDGs なにを学ぶの（内容）？

①地球的な課題 global issues

貧困・人権・平和・環境・多文化
貧困・飢餓、紛争・戦争、環境破壊、人権侵害といった問題、文化・民族・宗教などを異にする世界の人々

②地域の課題 local issues

日本の社会のあり方や私たちのライフスタイル
住み続けられるまちづくり、多文化共生

③グローバルな課題 Glo-cal issues

地球・世界⇔国家⇔地域⇔自己がボーダーレス
自分ごとと世界ごとが重なる
Think globally and act locally!
Act globally and think locally !
自分が変わる、社会が変わる



SDGs どんな人を育てるの？

持続可能な社会の創り手の学習者像（地球市民）

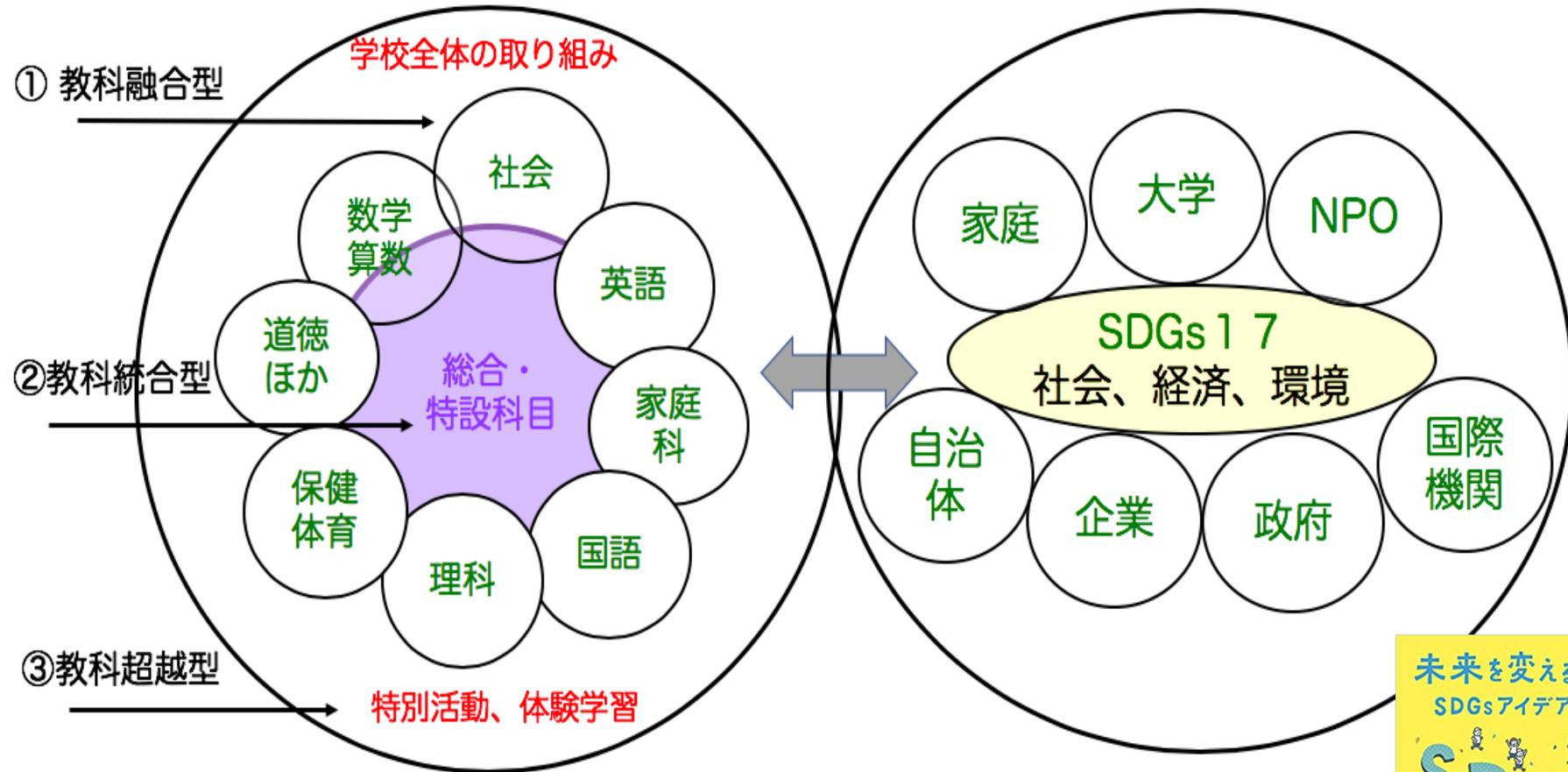
1. 人権、平和・非暴力、男女の平等、文化的多様性を尊重することができる人
2. 身近なことも遠い世界のことも、持続可能な暮らしの観点から課題とそのつながりを探究できる人
3. 共に生きる公正な地球社会づくりのために、地域・国家・地球社会の一人として、責任をもって地球的課題の解決に向けて参加・参画できる人

大事なことは

- ①SDGsについて about 学ぶ
（知ることは大切だが、ロゴ学習に終わらない）
- ②SDGsのために for 学ぶ
（アクターの多様性、自治体、企業、学校、NGOなど）
- ③SDGsを通して through 持続可能な創り手（Global citizen）
を育てる（変わるのは私たち、社会を変える）

学校のカリキュラムにどう取り入れる

カリキュラムマネジメント 3つのアプローチと社会とつながる



(社)Think the Earth編、蟹江憲史
監修(2018)『未来を変える目標
SDGsアイデアブック』紀伊国屋書店



カリキュラム・マネジメント

①教科融合型：社会科や理科、家庭科のなかで

正規の教科内容に国際理解教育（開発教育、SDGs）の見方や考え方をとり入れる。国際理解教育の不可欠なカリキュラム要素と、各教科固有の学習領域やスキルとをクロスさせ、各教科の授業単元として考案し、実践する。

②教科統合型：総合の探究やプロジェクトで

国際理解教育（開発教育、SDGs）のカリキュラム開発モデルをもとに、「総合的な学習の時間」や単独教科目として統合して行う。

③教科超越型：学校行事や職業体験、修学旅行で

教科や「時間」を超えて、または、学校全体で取り組む国際理解教育（開発教育、SDGs）。学校の修学旅行や海外研修などの国際交流活動、海外体験活動・スタディツアー。学校と社会がつながる。



日本国際理解教育
学会編（2015）
『国際理解教育ハ
ンドブック』明石
書店

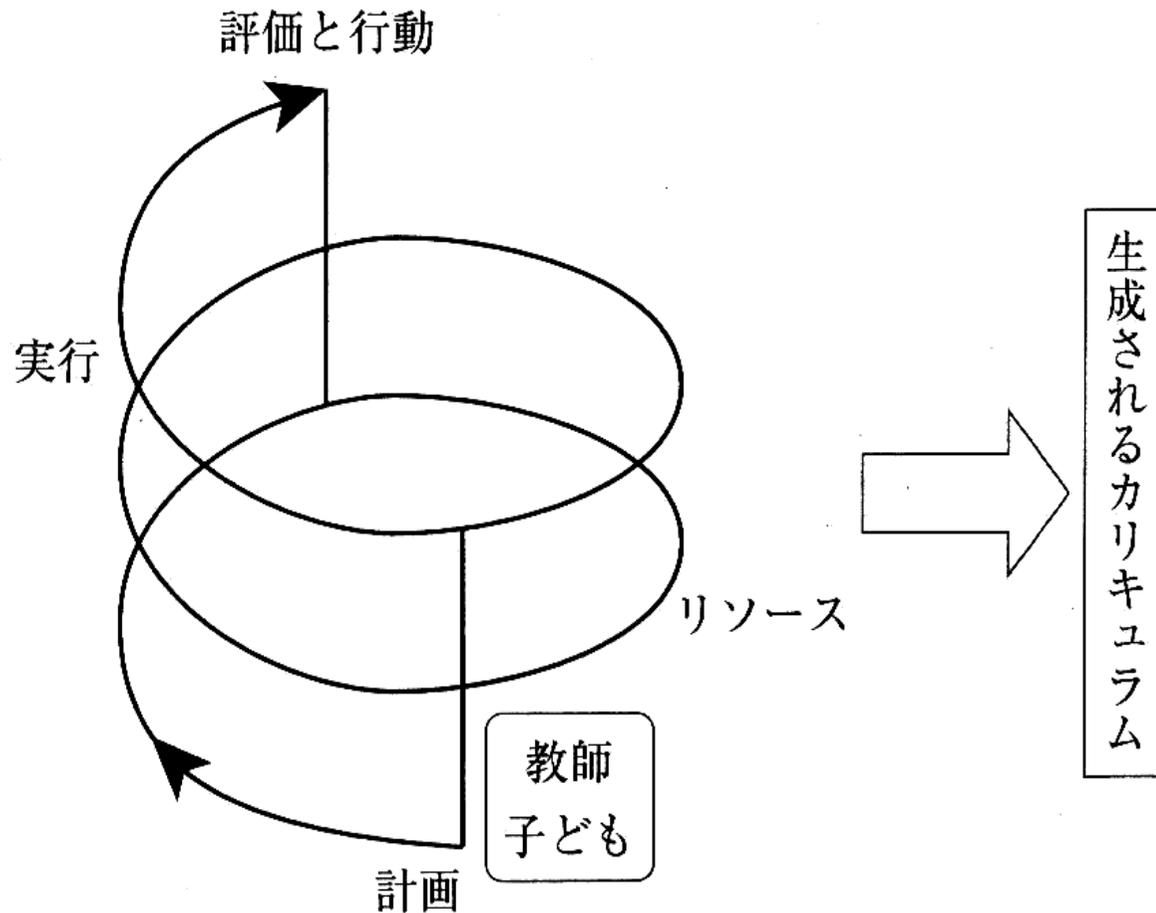
年間計画はどうする？

ESDカレンダー

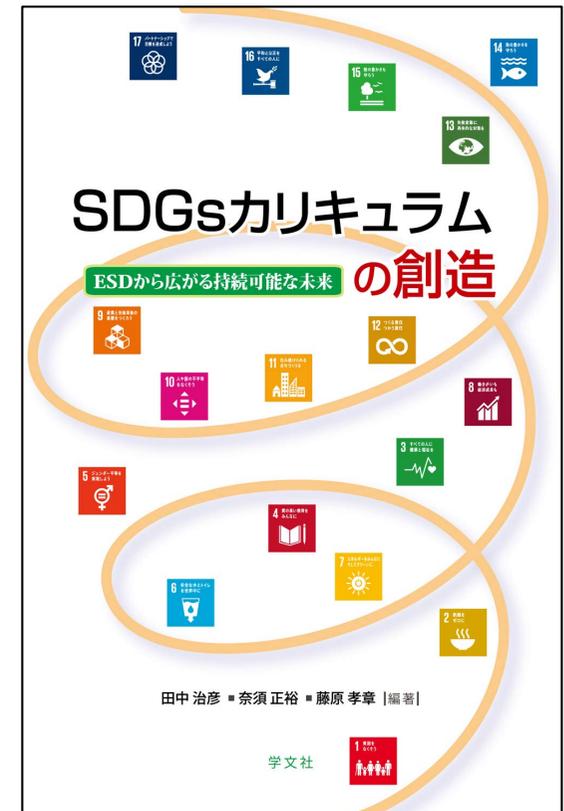
| 第6学年 ESDカレンダー | | | | | | | | | | 江東区立八名川小学校 | | |
|---------------|---------|---------------|-----------|---------------|-------------------|----|--------------------|----------|----------------------------|------------|-------------------|-------------|
| 教科領域 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
| 国語 | | 学級討論会 をしよう | | 伝えられて きたもの | | | 自分を見つ め直して | | 平和につい て考える | | | |
| 算数 | 俳句づくり | | | | | | | | | | | |
| 理科 | | 体のつくり と働き | | | 生物とその環境 | | 大地のつくりと変化 | | 資料の調べ方・平均 | | 生物と地球の環境 | |
| 社会 | | | | | 江戸の文化をつりあ げた人々 | | 長く続いた戦争と 人々の暮らし | | 日本とつながり の深い国々 | | 世界の未来と 日本の役割 | |
| 総合 | 未来へはばだけ | | | | 江戸・深川の歴史を調べ、町を語ろう | | | | 世界の平和って何？ 私たちにできることって何？ | | | |
| 英語 | | | | | | | 町の紹介できるかな | | | | | |
| 特活 | | 稲荷ずしを つくろう | | | | | | | 八名川まつり | | | |
| 道徳 | | 長生き ばんざい | | | | | 古きよき心 | | 同じ地球の子ども たち | | 世界が100人の 村だったら | |
| 音楽 図工 | | | | | | | 12年後の私 | | | | | |
| 体育 | | | 病原体と体の抵抗力 | | | | | 喫煙・飲酒・薬物 | | | | |
| 家庭 | | | | | | | 日常の食事と 調理の基礎 | | | | | これからの 自分 |
| | | 環境の教育 | | 国際的な理解と協力 | | | 人権・命の教育 | | 学習スキル | | | |

生成型のカリキュラム観で

SDGsの相互関連性、全体性を踏まえて、知識伝達型から教師と子どもがともにまなび、ともに学びを創って行くらせん型・生成型のカリキュラムへ



図B らせん的なカリキュラム



田中治彦・奈須正裕・藤原孝章編 (2019)
『SDGsカリキュラムの創造』学文社

学習デザイン・学習単元づくりのために

1. 育成すべき人間像（ゴール）

人権の尊重を基盤として、現代世界の基本的な特質である文化的多様性および相互依存性への認識を深めるとともに、異なる文化に対する寛容な態度と、地域・国家・地球社会の一員としての自覚をもって、地球的課題の解決に向けてさまざまなレベルで社会に参加し、他者と協力しようとする意思を有する人間」であり、同時に、「情報化社会のなかでの確かな判断をし、異なる文化をもつ他者ともコミュニケーションを行う技能を有する人間

2. 目標（3つの資質能力との関連付け）

①体験目標（出会い，交流，参加，行動）

②知識・理解目標：

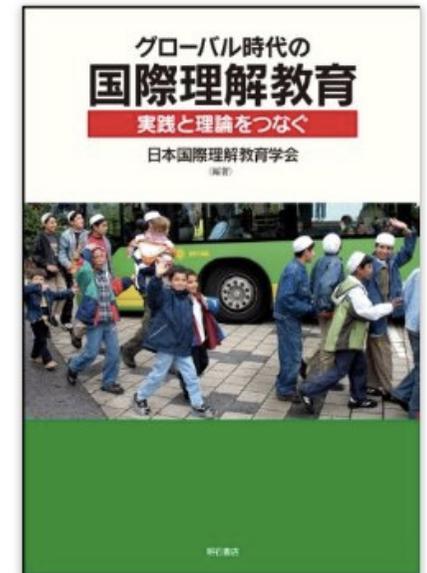
1) 文化的多様性、2) 相互依存、3) 安全・平和・共生、4) 未来への選択

③技能（思考・判断・表現）目標：

1) コミュニケーション能力、2) メディア・リテラシー、問題解決能力

④態度（関心・意欲）目標：

1) 人間としての尊厳、2) 寛容・共感、3) 参加・協力。



日本国際理解教育
学会編（2010）
『グローバル時代の
国際理解教育』
明石書店

3. 学習内容領域

変えるのは私たち

(D 未来への選択)

1 過去があって今がある (歴史認識)

2 私は社会の一員 (市民意識)

3 私にも何かできる (参加・協力)

世界はいろいろ

(A 多文化社会)

1 違うけれど同じ

(文化理解)

2 違うから面白い

(文化交流)

3 違いとつきあう

(多文化共生)

みんなつながりあっている

(B グローバル社会)

1 つながりに気づく

(私たちと世界のつながり)

2 あふれる情報の中で

(情報化)

私の安全、世界の平和

(C 地球的課題)

1 安全に暮らしたい (人権)

2 地球があぶない (環境)

3 暴力はいらない (平和)

4 みんながより安全に暮らす

ために (開発)

教科書に出てくるSDGsのトピック

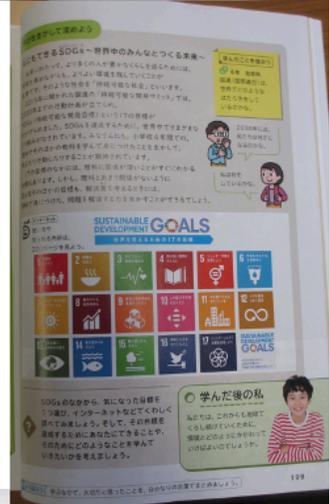


教科書に登場したSDGs

小学校社会



小学校理科



新学習指導要領
高等学校「地理総合」はほぼSDGs
社会、理科だけではなく、英語、
国語、技術家庭、美術・音楽も



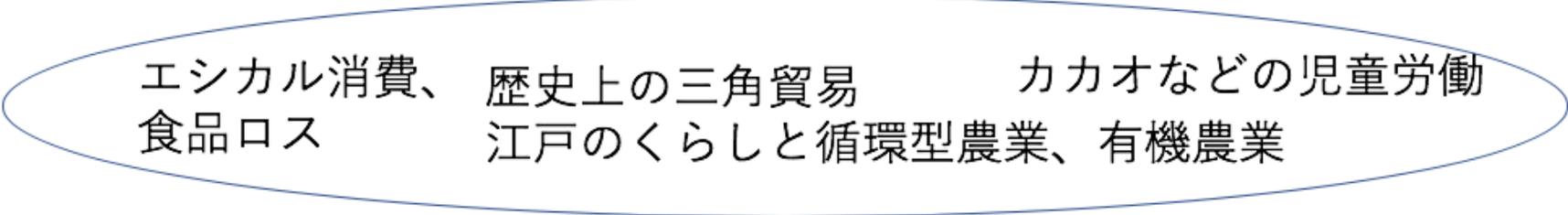
もしも世界が100人の村だったら
世界の食糧問題
コンビニでの買物
パーム油とマレーシア
チョコレートとフェアトレード
フードマイレージ
地産地消
水をお金で買う生活
地域でくらす外国人
循環型社会—江戸時代のくらし
地球温暖化
カキの養殖と森の保全
ゴミのゆくえ
さまざまなリサイクル
地域のハザードマップ
沖縄から見た日本と国際社会
ノーマライゼーションの社会
マザーテレサの話
マララさんの話

田中治彦・三宅隆史・湯本裕之編(2016)
『SDGsと開発教育』学文社

総合学習：探究型

社会とつながる・つなげる学習デザイン

自分ごとが世界ごとに
自分が変わる、社会が変わる



地域
フェアトレードタウン
子ども食堂
コンビニ、スーパーの割引商品

歴史
SDGsの課題の発生、解決できなかった歴史、課題に向き合っていた歴史

世界
学校に行けない子ども

人
フェアトレード商品を販売しているお店やNPO、生産者の名前のついた野菜



特別活動 プロジェクト型

織田雪江(2019)
「SDGsをテーマに取り
込んだ学園祭におけ
る生徒の意識変容」
『国際理解教育』Vol2
5、24-33頁

6、活動目標

- ①SDGsのゴールを知り、がっとなりあっていることに気づく(知識・理解)
- ②自分たちが学んだことを、他の人にわかりやすく伝えることはできる(技能)
- ③市民のひとり、消費者のひとりとして、社会に学びの場を広げる(態度)

7、キーワード: 持続可能な社会、エシカル消費、社会参画

8、活動について
(略)

9、連携、関係性

京都ソーシャルイノベーション研究所、GIFT他

10.展開計画

- 1,映画ザ・トゥルー・コスト」上映
- 2,エシカル消費
- 3.フィールドワーク
- 4.クラス展示作成
- 5.本番(クラス展示とチェペル発表)

11.評価計画

- 12.苦勞した点
- 13.改善するとしたら
- 14.活動づくりのための参考資料

実践研究論文 | Articles

SDGsをテーマに取り組んだ学園祭における生徒の意識変容

一知る・伝える「アクション」を「エシカル消費」につなぐー

How Students' Values Changed through Working on SDGs in the School Festival: Linking their "Action" by Knowing and Telling to "Ethical Consumption"

KEY WORDS ・SDGs ・「アクション」
・エシカル消費 ・意識変容
・学園祭

織田雪江
ODA Yuki

- 1、活動名:「ゴール12「つくる責任、使う責任」に向けて
- 2、対象:同志社中学校1年D組36名、授業者:織田雪江
- 3、教科領域との関連性:特別活動
- 4、実施時期:2016年7月20日～10月6日
- 5、総時数:約20時間+フィールドワーク+本番